



相ノ木っ子だより

平成31年度
学校だより
4月号
上市町立相ノ木小学校

見える心、見えない心

「〇年生担任、〇〇〇先生」「やったー」「いえー」

始業式での担任発表で、子供たちの歓声が体育館に響き渡りました。「担任の先生は誰かな?」「〇〇先生かもしれないぞ」「〇〇先生だったらいいな」など、おそらく子供たちそれぞれが予想や期待をしていたことでしょう。担任が発表されると、予想通りか、予想が外れたかは別にして、どの学年からも大きな喜びの声が上がりました。それまでの緊張から解き放たれた子供たちのうれしい心が見えた瞬間でした。

ところが、新たに來られた先生方が発表されると、子供たちには戸惑いがあったためでしょう、歓声は上がりませんでした。それまでの歓声がすごかっただけに、わたしはかわって來られた先生方に何だか申し訳ない思いでいました。その時です。どの学年からも自然と拍手が起きたのです。子供たちの心づかいが見え、歓声の時よりももっとうれしくなりました。

始業式や入学式で子供たちに、昨年度取り組んだ「自分を大切にする」を継続していこう、そして、さらに自分を高めるために、新たに「自分の心をみがく」を合言葉にして取り組んでいこうと話しました。自分の命を守る、自分のよさを伸ばす、相手を思いやるといった「自分のために」する行動は、「自分の心」が充実していないとできません。また、建前ばかりの形式ばった行為に終始していても、心の醸成はなされず、本当の成長、自立は望めません。素直な自分の心がしっかりとした行為につながったり、友達と本音で対話したりする中でこそ、相ノ木っ子が真の高まりを得ていくものと考えます。

そして、先述のような心の表出を分かち合いながら、互いに認め合っていきたいものです。とは言え、思春期を迎える高学年等は、自分の本心をなかなか出すことができません。そんな時は、わたしたち大人が寄り添い、見えない心にくみ取りながら共に思索していけばよいのではないのでしょうか。

昨年度の学校だより4月号で、東日本大震災発生後のテレビ広告フレーズ「こころは見えないけれど、こころづかいは見える。思いは見えないけれど、思いやりは見える」を掲載しました。ここでは、引用された詩人宮澤章二さんの「行為の意味」という詩の原文を紹介したいと思います。

あなたの「こころ」はどんな形ですか? と、人に聞かれても答えようがない。
自分にも他人にも「こころ」は見えないけれど、ほんとうに見えないのであろうか。
確かに「こころ」はだれにも見えない。けれど「こころづかい」は見えるのだ。
それは人に対する積極的な行為だから。
同じように胸の中の「思い」は見えない。けれど「思いやり」はだれにでも見える。
それも人に対する積極的な行為なのだから。
あたたかい心があたたかい行為になり、やさしい思いがやさしい行為になるとき、
「心」も「思い」も初めて美しく生きる。それは人が人として生きることだ。

今年度も、徒然なるまま、心のままに書き綴っていきますので、どうぞ一年間よろしくお願ひします。



<今年度の教職員>

校長	和田 英俊	通級指導教室	稲生 由佳
教頭	米山 節子	養護教諭	飛弾 敬子
教務主任	高野由香子	主任専門員	柏 厚子
1年生担任	瀧川 尚未	業務士	吉田 雅子
2年生担任	大橋 篤志	助手	加藤 香織
あすなろ級担任	高濱 久美	助手	安田 和子
3年生担任	浦本小百合	助手	澤田 修
つばめ級担任	野中麻衣子	業務士	種田 晴美
4年生担任	山林 久恭	外国語指導講師	山田 真由美
5年生担任	釈永 広乃	スクールカウンセラー	竹田 由利香
6年生担任	北川 義人		





日本人らしい挨拶言葉

「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」

朝や帰りはもちろん、休み時間にも子供たちの挨拶の声が聞こえてきます。児童玄関で挨拶隊やわたしに、職員室の戸を開けて先生方に、廊下ですれ違う先生方やお客さんに。昨年度の卒業式で、卒業生が「元気な挨拶の溢れる相ノ木小学校にしてください」と在校生に託した思い。入学式で、児童会役員がキャラクターのかぶり物をして「元気な挨拶をみんなでしていきましょう」と思いを伝えた新入生歓迎の言葉。これまで、相ノ木っ子の挨拶が習慣付き、自然になってきたことをお知らせしてきました。相手への思いやりの心の表れとして、よりいっそう大切にしていきたいと考えます。また今年度になり、昨年度以上に「挨拶上手さん」になってきていることを実感しています。

ところで、「さようなら」の語源はいったい何でしょうか？それは、「左様ならば」が転じたもので、「そうであるならば」という意味です。これについては、NHK「チコちゃんに叱られる」でも取り上げられていたので、知っている方もいらっしゃるかもしれません。これが英語だと「See you tomorrow.」、中国語だと「再見」で、「また会いましょう」といった互いの再会を期するもので、とても分かりやすいです。ところが、「さようなら」は違います。言葉として中途半端で、その後の言葉を想像させるところ、余韻を残すところが日本人らしいです。「そうであるならば、仕方がない。お別れしましょう」といった別れへの名残惜しさや儚さ、そして相手への気遣いまで感じさせます。

日本人が使う言葉は、奥ゆかしさや慎ましさがあります。これは、「おはよう」も「こんにちは」も同様ではないでしょうか。皆まで言わないですが、「お早いですね。今日も元気でお過ごしください」「今日は、よい一日ですね」そんな相手への素敵な心づかいが毎日交わされているのです。ですから、子供たちにはそんな日本人らしい挨拶言葉を大切にしてほしいですし、相手を気遣う日本の精神をしっかりと受け継いでほしいと思います。

相ノ木っ子のみんな、「左様ならば」の後にどんな思いを込めますか？



行事予定(4月中旬～5月中旬)

4月18日(木)	全国学力・学習状況調査 (6年)	5月1日(水)	(祝)即位の日
19日(金)	学習参観・PTA総会 学級懇談会・校区歓送迎会	2日(木)	(祝)国民の休日
23日(火)	歯科検診・尿検査	3日(金)	(祝)憲法記念日
24日(水)	家庭訪問1日目	4日(土)	(祝)みどりの日
25日(木)	家庭訪問2日目	5日(日)	(祝)こどもの日
26日(金)	家庭訪問3日目	6日(月)	(祝)振替休日
29日(月)	(祝)昭和の日	7日(火)	心臓検診(1年)
30日(火)	(祝)退位の日	15日(水)	町児童陸上競技記録会 (5・6年)

